『縁日しろやま宵ばなし』 さて夏の厳し陽射しが少し緩み、 始まりの合図がイシキリテラスに 鳴り響きます。紙芝居屋さんが子 供達に声をかけます。「さあさあ これなるは摩訶不思議なお話し 城山ばなしの始まりはじまり~ !」と。そう城山にはいくつかの 不思議な言い伝えがあります。天 狗が投げた大きな石のお話しや、 今でも皆さんに愛されている孝行 桜のお話し、そんなお話しを紙芝 居と魅力的な音楽で楽しく聴かせ てくれます。そして、子供も大人 も駄菓子を食べながら、どこか昔 懐かしい時間を過ごします。

そがない、どにす大が味少引をがいる。人らししきがいる。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のしてがない。人のして、ないないが、ないないが、ないないのでは、ないないが、ないないではないが、ないないではない。

田んぼの神さま、山の神さま、石の神さまに感謝し、この美まに感謝し、この神さま達しい。 園風景の中、八百万の神さま達しっった。 一緒に楽しい縁日を過ごしまらい。 ほら、お囃子が山の方から聴 こえてきませんか?

